

謹呈

泌尿器科紀要

第 7 卷 第 3 号

昭和 36 年 3 月

随想 ハイティーンと淋疾	大熊 博雄	327
逆行性腎盂撮影に関する研究		
第I篇 腎部疼痛に就て(その1)	喜多 芳武	329
逆行性腎盂撮影に関する研究		
第II篇 腎部疼痛に就て(その2)	喜多 芳武	336
逆行性腎盂撮影に関する研究		
第III篇 感染予防に就て	喜多 芳武	346
前立腺の亜鉛に関する臨床的実験的研究	白川 正美	352
泌尿器疾患とくに尿路結石症と尿ムコ蛋白に関する研究		
第I篇 尿路結石症その他2~3の泌尿器疾患患者に於ける尿ムコ蛋白, ヘキソース, ヘキソサミン, グルクロン酸及び保護膠質について	南川 清海	363
泌尿器疾患とくに尿路結石症と尿ムコ蛋白に関する研究		
第II篇 昇赤腎家兔に於ける尿ムコ蛋白と保護膠質について	南川 清海	383
尿路 Candida 症に於ける2, 3の検索	山本忠治郎・水谷 三・佐藤徳郎	394
尿路 Candida の高級脂肪酸について	山本忠治郎・岸本亮四郎・水谷 三	406
一結核性乾酪巣の形態発生からみた一腎結核の発生病理に就いて	大北 健逸	411
副睾丸嚢腫について	水本龍助・平間 茂	422
尿管弁膜形成及び尿管結石を伴った尿管肉芽腫	金沢 稔・桜根孝志・富吉 義夫	430
腎或は後腹膜腫瘍と誤られた脾仮性嚢腫の1例	仁平寛巳・片村永樹・小池和男・吉村 義正	436
Nitrofuran 系化合物の使用経験		
特に Furadantin による尿路感染症治療を中心として	稲田 務・酒徳治三郎・沢西謙次・田中正躬・中川 隆	447
編集後記・購読要項・投稿内規		478
Studies on Retrograde Pyelography		
Report I : On the Pain of Renal Region (1).	Y. Kita	329
Studies on Retrograde Pyelography		
Report II : On the Pain of Renal Region (2).	Y. Kita	336
Studies on Retrograde Pyelography		
Report III : On the Prevention of Infection.	Y. Kita	346
Clinical and Experimental Study on Quantitative		
Analysis of Zinc in Prostate.	M. Shirakawa	352
Studies on Urinary Mucoprotein in Urological Disease,		
with Special Reference to Urolithiasis		
I. Mucoprotein, Hexose, Hexosamine, Glucuronic Acid and Protective Colloids		
in Urine of Patients with Urolithiasis and Other Urological Diseases.	K. Minamikawa	363
Studies on Urinary Mucoprotein in Urological Disease,		
with Special Reference to Urolithiasis		
II. Urinary Mucoprotein and Protective Urinary Colloids in Rabbit		
Poisoned with Mercuric Chloride.	K. Minamikawa	383
Some Investigations of Urinary Candidiasis.		
Higher Fatty Acids in Urinary Candida.	C. Yamamoto, M. Mizutani and T. Sato	394
Pathogenesis of Renal Tuberculosis		
Morphogenesis of Tuberculous Caeation.	K. Okita	411
Cysts in the Epididymis.	R. Mizumoto and S. Hirama	422
Granuloma of the Ureter Associated with Ureteral Valve and Calculus.		
Pancreatic Pseudocyst Simulating Renal Disease; A Case of Report.	M. Kanazawa, T. Sakurane and Y. Tomiyoshi	430
Trials with Nitrofuran Derivatives with a Special Reference		
to Treatment of Urinary Tract Infection.	H. Nihira, E. Katamura, K. Koike and Y. Yoshimura	436
to Treatment of Urinary Tract Infection.		
Treatment of Urinary Tract Infection.	T. Inada, J. Sakatoku, K. Sawanishi, M. Tanaka and T. Nakagawa	447

京都大学医学部泌尿器科教室

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Japan.

Editor : Prof. Tsutomu INADA

泌尿紀要

Acta Urol.



編集後記

いわゆる医療費問題をめぐって新聞 雑誌 ラジオ テレビ等に各界の意見が出た。それらを見聞して先ず感ずる事は 医療にたずさわっていない人 例えば政治家 役人 評論家等は やはり医療制度に就てよく知っていないと云う事である。厚生大臣と云うものも大体に素人であつて 大臣になつてから医療問題に接触するのであり 政党人や評論家等は 政治や経済には精しいであろうが 医療の実態を知っているわけがない。医療問題には昔からの経緯があり 内容も極めてむずかしく 複雑なものである。普段に関係のない者が俄かに出て来て意見を述べても それがピントはずれであるのは当然であろう。

次に街の声 世論と云うものを聞くと その約9割までが今回の医師会の言動を攻撃している。その多くは「医は仁術」の観念を持つていて 医者には人命をあずかる貴重な任務があり一斉休診の如きは人道に反すると云う。この人達は安い医療費によつて十分な医療を 日曜でも夜中にでも受けようと考えている。それは医者に「医は仁術」を押しつけ 自分等の都合のよい事ばかりを云つているのである。医者の仕事が貴重なものであると云うのであれば 医者はそれだけ厚く待遇せられるべきである。これらの人も医療の実態を勿論知らずに 虫のよい事ばかりを云つているのである。医者は世間に対して医療と云う事をもつと平易に説明 宣伝する事が必要である。

次に医療は病人と実地医家だけの問題ではない。医学の研究や医師の養成と密接に関係している。そこで文部省 大学 学会等とも深い関連があるのである。厚生省 医師会 政党 健保連等は種々の意見を出しているが 大学からは今回の問題に関して何らの意見も出なかつたように思う。これはどうした事であろうか。大学には意見はないのか。他人に委せて置けばよいのか。わが国将来の医療制度を如何にするべきかを考える事は 大学にとつて大きな責任ではなからうか。現在の健康保険制度が極めて不合理なものになつているのは 大学が云うべき時に沈黙していた事も大きな原因になつている。その過誤を再び繰り返してはならない(昭和36年3月)

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とする。年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間料金 1,000円を前納する。1冊料金 100円、払込みは振替口座番号京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。中野：泌尿紀要、1：110、昭30。Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を附け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳します。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受く。
6. 掲載料は4頁迄毎頁 500円、それ以上の頁、アートを、図表、写真は実費を申受ける。別再20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集者が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院京都大学病院泌尿器科紀要編集部。